



### 発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟  
<http://dohekifuku.zenhekiren.net/index.html>

委員長 温泉 敏

編集責任者 中川 真人

印刷所 山東印刷株式会社

夕張郡栗山町中央2丁目245 TEL 0123-72-1151

題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや さいかく) 氏

## 新たな一步を踏み出した今年度。 そして、これから。。。

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 温泉 敏



令和3年度の活動が終わろうとしています。会員の皆様には、本連盟の事業推進にご理解とご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

今年度は本連盟の事業の中核をなす全道大会がオホーツク管内で開催できたことは本当によかったと思います。そして、この大会は、これまでいくつかの場でお話させてもらっているように、大きな意味を持つものとなりました。それは、授業のライブ配信やダイジェスト版といった新たな大会のやり方を切り拓く一步となったからです。

これまでの話と繰り返しになりますので、ここでは省きますが、オホーツク大会開催に関わっていただいた全ての方に、改めて感謝申し上げます。

さて、私たちを取り巻く環境は、大きく変わりました。VUCA時代(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)と言われている今日、私たちは何をたよりに前に進んでいけばよいのでしょうか。

その一つとしてOECDの2030年教育モデルや内閣府が「総合科学技術・イノベーション会議教育・人材育成ワーキンググループ」で出している次代の学びが参考になるのではないかと思います。

OECDが2030年教育モデルとして出しているのは、児童・生徒に今後求められる資質・能力として3つあげています。そして、真ん中(ベース)に「Agency」があります。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、意味は主体性、当事者意識です。今、「学習者のエージェンシー」や「教師のエージェンシー」という言葉を目にすることがあります。これからの授業を考える言葉になるのかもしれませんが。

また、先に記した内閣府のワーキンググループが出した資料には、次代の学びが図になって表されています。ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、次代の学習はこれまでの授業観を変えることが求められるでしょう。

さらに、「令和の日本型学校教育」に求められる教師の資質・能力の中に「ファシリテート」という文字があります。これからは「教えるプロ」と言われてきた教師に「コーチング」や「ファシリテート」の役割が大きくなったこととなります。

「ICT教育と少人数指導が両輪」と記載された「令和の日本型学校教育」は、私たちにとって大きな力を与えてくれたと思います。各地区において未来の授業を目指す研鑽を重ね、さらに北海道全体に広がることを期待したいと思います。

# 令和3年度 会 務 報 告

事務局長 井上 隆一

29日(木) 胆振大会教育委員会挨拶回り

～30日(金) 胆振大会第1回実行委員会

(洞爺湖：委員長・事務局長)

## 1 一般経過報告

## 【5月】

- 7日(金) 令和3年度定期総会  
(ライフオート札幌：リモート)  
研修会(講師：道教大 水上教授)  
新旧役員引継、第1回常任委員会
- 10日(月) 道小総会・研修会(書面)
- 11日(火) 道小理事研修会(リモート：総務部長)
- 12日(水) 道小分科会運営者研修会全体会  
(リモート：総務部長)  
オホーツク大会打合せ  
(北見：委員長・事務局長)
- 14日(金) 道小分科会運営者研修会  
(リモート：総務部長)
- 26日(水) 第1回企画委員会(リモート：委員長・研究部長・事務局長)  
全へき連旧理事会(リモート：顧問)

## 【6月】

- 2日(水) 全へき連春季総会(書面)
- 11日(金) 情報誌第170号発行  
全へき連第1回図書編纂委員会  
(リモート：柿崎顧問・委員長・研究部長)  
道小会長研修会(総務部長)
- 18日(金) 第1回研究推進委員会(リモート：委員長・研究部長・事務局長)
- 22日(火) 第2回常任委員会(ライフオート札幌)
- 25日(金) 道研講座(リモート：委員長)  
道小第2回理事研修会(総務部長)

## 【7月】

- 9日(金) オホーツク大会会場下見・打合せ  
(北見：委員長・研究部長・事務局長)
- 12日(月) 第2回企画委員会・第2回研究推進委員会(ライフオート札幌)
- ～13日(火) 関係機関への挨拶回り  
(道通、日本教育新聞、道教大、道研：顧問・委員長・事務局長)
- 26日(月) 道教委文教施策各課懇談会  
(リモート：総務部長)

## 【8月】

- 2日(月) 第3回常任委員会・第1回組織検討委員会(北見)
- 24日(火) 道教大連携協定による水上教授のモデル授業(上川土別多寄小～9/7全6回)

## 【9月】

- 2日(木) 臨時企画委員会(リモート：研究部長)
- 10日(金) 道研講座
- 15日(水) 第4回常任委員会・第1回監査委員会・第3回研究推進委員会(北見)
- 16日(木) 評議委員会  
第70回全道へき地複式教育研究大会  
オホーツク大会分散会(北見)
- 17日(金) 同大会分科会(リモート：管内6会場)

## 【10月】

- 18日(月) オホーツク大会終了挨拶(網走・遠軽：柿崎顧問・事務局長)
- 19日(火) 関係機関への挨拶回り(日本教育公務員弘済会：柿崎顧問・事務局長)
- 27日(水) 全へき連秋季総会、第3回理事会  
(宮崎：柿崎顧問・委員長・研究部長)
- 28日(木) 第70回全へき連研究大会宮崎大会
- ～29日(金) (宮崎：柿崎顧問・委員長・研究部長・事務局長)

## 【11月】

- 12日(金) 情報誌171号発行
- 24日(水) 全へき連代表者会議、第4回理事会、第2回図書編纂委員会
- 25日(木) 全へき連研究推進協議会
- ～26日(金) (東京：柿崎顧問・委員長・研究部長)

## 【12月】

- 7日(火) 胆振大会第2回実行委員会  
(白老：委員長)
- 10日(金) 根室複式研究大会(委員長・事務局長)

20日(月) 関係機関への挨拶回り  
(道教委：委員長・事務局長)

### 【1月】

24日(月) 第5回常任委員会・全道大会引継  
(ライフオート札幌)  
27日(木) へき地教育について関係機関との意見交換(東京：柿崎顧問)  
28日(金) へき地教育について関係機関との意見交換(東京：柿崎顧問・委員長)  
第3回編纂委員会(リモート)

### 【2月】

2日(水) 第3回企画委員会(リモート)  
14日(月) 第4回研究推進委員会(リモート)  
17日(木) 全へき連第5回理事会(リモート)  
18日(金) 情報誌172号発行

### 【5月】

12日(木) 第6回常任委員会・第2回監査委員会  
13日(金) 令和4年度 北海道へき地・複式教育研究連盟定期総会  
第1回組織検討委員会  
第1回常任委員会  
関係機関挨拶回り(道教委ほか)

## 2 一般業務報告

昭和23年に結成された本連盟は、平成30年度に70年の節目の年を迎え、令和から新しい歴史を刻むこととなりました。これまで、地域に根ざした教育を探求するとともに、へき地校の教育条件整備を進め、確実に成果を重ねてきました。しかし、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、私たちの活動推進も難しい1年となりました。それでも、工夫をしながら研究・組織・条件整備等の課題解決に向けて業務を推進してきましたので、その概要を申し上げます報告といたします。

◇ 研究面では、第10次長期5か年研究推進計画の3年目として、節目の第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会を開催いたしました。コロナ禍により大会開催の可否を心配する状況となりましたが、開催方法を工夫することで実施判断をいたしました。各会場校とも参加者を絞りライブ配信するとともに、現地実行委員会、会場校等の多大な努力とご協力により開催となりました。

また、分散会においても、Zoomによるブレ

クアウトルームを活用するなど双方向の討議がなされ、今後の大会運営に向けての示唆に富んだ大会となりました。

◇ 組織面では、学校規模適正配置計画の推進や少子化による児童生徒数の減少から、各市町村においてへき地・小規模校の統廃合が進み、加盟校及び会員の減少が加速しています。令和になってもその傾向は変わらない状況です。これに伴い、今後の組織の事業のあり方や財政運営について、組織検討委員会の答申を受け、全道大会の持ち方等を検討し、令和4年度から新たな取組を進めていくこととなりました。未加盟校への働きかけについては、各地区に道へき・複連の発足の趣旨や目的、加盟することのメリット等についての啓発活動を行うなどの意識高揚に向けた取組をお願いしてきました。

◇ 教育条件整備については、3学級4定員や教頭未配置校の解消をはじめ、へき地複式校の抱える諸課題の解決のため、全へき連、道小、道へき複連OB会と連携しながら、関係機関に要請してきました。文教施策懇談会の各課懇談会でも道教委に要望等を伝えることも取り組んできました。

へき地級の改定については、道小理事会等で各管内の代表の方に協力を依頼するとともに、これまで同様、地域の実態に応じた算定であるか、適切な調整点であるかなどの検討に務め、国や道への意見具申を続けていきます。

◇ 各関係機関との連携では、道研の講座「これからのへき地・小規模校教育充実研修【複式学級の学習指導】」(6月)と同じく「これからのへき地・小規模校教育充実研修【遠隔合同授業】」(9月)の2つの講座が共催となりました。遠隔研修ではありましたが新たな研修の形として課題を提起するものでした。また、委員長が講座の1つにパネラーとなり相互により関係を築いています。

さらに、教育大学の実習に関しても「草の根」として、へき地・小規模校への実施の活動が進められてきました。へき地・小規模校のよさや大切さが認識されたのではないかと思います。

◇ 研究推進、組織確立、財政上の諸課題につい

ては、例年、組織検討委員会を設置して検討を重ねてきました。これからも連盟だけではなく各地区の課題も踏まえた論議を重ね、時代や社会環境の変化に対応した組織運営を目指していきたいと考えます。

### 3 情報関係活動経過報告（概要）

事務局次長 中川 真人

5月7日(金)	定期総会で「道へき・複連情報」発行計画を承認 情報170号原稿依頼
6月11日(金)	情報170号発行・発送 道へき・複連HP更新
9月22日(水)	情報171号原稿依頼
11月15日(月)	情報171号発行・発送 道へき・複連HP更新
1月20日(木)	情報172号原稿依頼
2月18日(金)	情報172号発行・発送 道へき・複連HP更新

### 4 情報関係事業報告

#### (1) 情報関係

「道へき・複連情報誌」（170、171、172号）を発行し、広報活動に努めました。170号では、リモートで開催された定期総会特集、171号では第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会特集、172号では令和3年度の活動報告及び次年度の胆振大会ファーストステージについてのお知らせを掲載しました。今年度開催されたオホーツク大会の推進に際しまして、ご尽力いただきましたオホーツクへき・複連の皆様をはじめ、情報提供や原稿執筆を賜りました多くの方々に改めて感謝とお礼を申し上げます。

〈各号の主な内容〉

#### 【第170号】

- 令和3年度 道へき・複連定期総会特集号
- ・定期総会報告
  - ・役員・代議員研修会の概要
  - ・第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会の案内

#### 【第171号】

- 第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会特集号
- ・オホーツク大会の報告
  - ・第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会の案内

#### 【第172号】

- 令和3年度 道へき・複連活動報告特集号
- ・今年度の活動報告
  - ・第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会ファーストステージに向けて

〈道へき・複連ホームページの内容〉

- 1 概要（要覧 管内担当）
- 2 長期研究推進計画
- 3 各地区研究主題
- 4 道へき・複連刊行物（道へき・複連情報研究部情報 他）
- 5 実践事例
- 6 全道大会
- 7 実践研究発表大会
- 8 全国大会
- 9 シンボルマーク へき地教師の歌「太陽となろう」
- 10 北海道ブロック大会資料

#### (2) 「全国へき地教育研究連盟HP」関係

##### ① スムーズな対応へのご協力

会員の皆様のご理解とご協力により、複式教育に係わる各種情報を掲載することができましたことに感謝申し上げます。

「全国へき地教育研究連盟HP」は、全へき連とへき地・複式校を結ぶ貴重なツールです。また、私たちの教育実践を発表し、幅広く交流できる手立てでもあります。今年度のHPの管理運営費用（1校300円）につきましては、道へき・複連の全へき連会計の中から一括して加盟校分を支払いました。

〈具体的な手立て〉

- 定期総会、評議委員会での周知
- 各地区の委員長または事務局長へHPに関わるデータを送信
- 道へき・複連及び各地区事務局長との連携
- 必要に応じて原稿確認を各地区事務局等に送信

##### ② 手続きの流れ

- ア 全へき→道へき：原稿割当
- イ 道へき→各地区：原稿割当
- ウ 各地区→道へき：執筆者報告
- エ 道へき→各地区：依頼文ひな型送信
- オ 各地区→執筆者：依頼文送信
- カ 執筆者→道へき：原稿提出

キ 道へき⇔執筆者：原稿推敲  
 ク 道へき→全へき：原稿提出  
 ケ 全へきHP : 原稿アップ  
 ※上記については、全てメールで執り行います。

## ③ 原稿種別、依頼数、地区名、氏名

【令和3年9月～令和4年8月】

○ 論評（市町村教育長、各局指導主事等） 3本  
〈胆振、上川、十勝〉

- ・胆振教育局義務教育指導班  
指導主事 寶福 舎氏
- ・上川管内士別市教育委員会  
教育長 中峰 寿彰氏
- ・十勝管内豊頃町教育委員会  
教育長 水野 豊昭氏

○ 山紫水明（校長） 6本  
〈後志、檜山、上川、留萌、十勝、釧路〉

- ・真狩村立御保内小学校 校長 高野 秀樹氏
- ・乙部町立明和小学校 校長 晴山 泰文氏
- ・富良野市立山部小学校 校長 桑原 久美氏
- ・天塩町立啓徳小学校 校長 佐藤美智子氏
- ・鹿追町立笹川小学校 校長 高橋 教之氏
- ・鶴居村立幌呂小学校 校長 水澤 好克氏

○ 事務室より（事務職員） 3本  
〈日高、オホーツク、十勝〉

- ・えりも町立えりも岬小学校  
事務職員 小林 純斗氏
- ・紋別市立渚滑小学校  
事務職員 菊地 春奈氏
- ・鹿追町立通明小学校  
事務職員 上田 秀一氏

○ 保健室より（養護教諭） 3本  
〈檜山、上川、宗谷〉

- ・厚沢部町立館小学校  
養護教諭 石澤 郁代氏
- ・南富良野町立南富良野西小学校  
養護教諭 吉見 咲希氏
- ・枝幸町立音標小学校  
養護教諭 剣持流美菜氏

○ 研究実践（各校の実践） 7本  
〈石狩、空知、後志、胆振、宗谷、オホーツク、釧路〉

- ・石狩市立浜益小学校 校長 徳田 和之氏
- ・栗山町立継立小学校 教諭 久保沼あや氏
- ・蘭越町立昆布小学校 校長 中川 亨氏
- ・伊達市立関内小学校 教諭 入瀬 嘉子氏
- ・枝幸町立岡島小学校 教諭 矢野 純弥氏
- ・佐呂間町立浜佐呂間小学校  
校長 野田坂正法氏
- ・標茶町立虹別小学校 校長 小原 正寿氏

○ 若者の広場 2本  
〈渡島、上川〉

- ・松前町立大島小学校 教諭 窪田 佳祐氏
- ・占冠村立占冠中学校 教諭 奥野 真衣氏

## ○ 学習指導案 11本

- 〈渡島、檜山、上川、留萌、宗谷、オホーツク、十勝、釧路、根室、石狩、空知〉
- ・八雲町立東野小学校 教諭 皆川隆一郎氏
  - ・上ノ国町立滝沢小学校 教諭 藤田しのぶ氏
  - ・当麻町立宇園別小学校 教諭 坂田 智美氏
  - ・留萌市立港北小学校 教諭 西山 泰代氏
  - ・枝幸町立風烈布小学校 教諭 佐野 泰斉氏
  - ・北見市立錦水小学校 教諭 茨城 達郎氏
  - ・帯広市立愛国小学校 教頭 山野 圭氏
  - ・標茶町立虹別小学校 校長 小原 正寿氏
  - ・別海町立上春別小学校 校長 菅原 晋氏
  - ・千歳市立支笏湖小学校 校長 鈴木 直道氏
  - ・岩見沢市立メープル小学校  
教諭 大澤 晴江氏

## ④ その他

- ア 原稿はA4サイズ1枚程度（1200字程度、写真を含む）とし、研究実践については、ページ数の制限を設けませんでした。
- イ ワード文書で統一しました。道へき・複連及び全へきでの校正作業等がスムーズに行えました。
- ウ 指導案等では、児童の名前を伏せたり、個人が特定されない写真を使用したりして原稿を作成していただきました。個人情報の保護を図りました。
- エ 見やすさ・読みやすさの観点から、写真やイラストを有効に配置した原稿をお願いします。
- オ 大会情報や大会報告がありましたら、随時受け付けて全へき連へ報告いたします。

# 令和3年度 総務部報告

総務部長 小野田 年克

## 1 活動経過報告

- 5月7日(金) 定期総会 [リモート]  
第1回常任委員会
- 10日(月) 道小総会・研修会 [書面]
- 11日(火) 道小第1回理事研修会 [リモート]  
道小分科会運営者研修会 [リモート]
- 14日(金) 道小第1回分科会運営者研修会 [リモート]
- 6月11日(金) 道小全道会長研修会 [リモート]
- 22日(火) 第2回常任委員会
- 28日(月) 道小第2回理事研修会 [リモート]
- 29日(火) 組織検討委員会アンケート、  
全へき連基本調査依頼
- 7月8日(木) 全へき連リンク集調査依頼
- 16日(金) 組織検討委員会意見集約
- 21日(水) 全へき連基本調査集約
- 26日(月) 道教委文教施策・  
各課懇談会 [リモート]
- 30日(金) 全へき連リンク集調査集約
- 8月2日(月) 第3回常任委員会  
第1回組織検討委員会
- 6日(金) 全へき連リンク集調査結果報告  
全へき連基本調査結果報告
- 20日(金) 道小第2回分科会運営者研修会 [リモート]
- 9月9日(木) 道小第3回理事研修会 [リモート]
- 10日(金) 道小教育研究会石狩・千歳大会
- 15日(水) 第4回常任委員会
- 16日(木) 第70回全道へき地複式教育  
研究大会オホーツク大会(～17日)  
評議委員会  
組織検討委員会中間報告
- 10月28日(木) 全国へき地教育研究大会  
宮崎大会(～29日)
- 12月17日(金) 道小第4回理事研修会
- 1月24日(月) 第5回常任委員会  
組織検討委員会最終報告検討
- 2月25日(金) 道小第5回理事研修会
- 5月12日(木) 第6回常任委員会
- 13日(金) 令和4年度定期総会

## 2 要望要請活動(主な要望事項～抜粋)

- 【へき地・複式校、小中併置校、小規模校における条件整備】
- ①統廃合における人的な配置  
②複式指導における児童の学習環境の向上と教員の負担軽減  
③複式学級における教員の実践力向上  
④へき地学校指定級見直しに向けた条件整備  
⑤へき地教育振興法についての市町村への周知
- 【へき地・複式校・小規模校への教育実習拡大に向けた支援と環境整備】
- 【教育課程編成、実施及び充実のための条件整備】
- ①「生きる力」を育む教育課程の編成・実施・評価・改善に向けた道独自の条件整備  
②3学級4定員、6学級8定員など、小規模校における定数改善及び専任教頭全校配置  
③中学校における免許外担当の一層の縮減のための講師制度の拡大と充実
- 【子どもと向き合う時間の確保に関わる諸問題の取組や学校における働き方改革のより一層の推進】
- ①全市町村における校務支援システムの導入の一層の推進並びに在校しながら研修・会議を行えるオンラインシステムの早期確立  
②GIGAスクール構想における人的支援・学びの充実・通信環境整備の充実

## 3 各種調査

- (1) 全へき連関係調査
- 全へき連基本調査
  - 全へき連リンク集調査
- (2) 組織検討委員会調査
- 各地区連盟にご協力いただき、集約。組織検討委員会において検討し、9月に中間報告実施、次年度総会にて最終報告を行う。

# 令和3年度 研究部報告

研究部長 森 広明

## 1 研究主題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

## 2 活動の重点

第10次長期5か年研究推進計画の第3年次としての確かな実践研究を行い、地域に根ざした魅力ある教育活動を推進する。

また、第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会の開催による実践記録の累積・収集を行う。

## 3 活動報告

### (1) 共同研究体制の強化と実践研究の充実

#### ①企画委員会

- ・構成…研究部長、研究推進委員長、副委員長、各部長
- ・開催日…5/26、7/12、2/2
- ・内容…研究推進委員会の企画・推進及び全道大会の対応等の協議

#### ②研究推進委員会

- ・構成…研究部長、各地区研究推進委員
- ・開催日…6/18、7/12・13、9/15、2/14
- ・内容…全道大会への支援・協力、道へき・複連の共同研究の推進、参考資料の執筆・編集・発刊等

#### ③各地区へき・複連研究活動への協力

- ・各地区研究大会等への支援

#### ④未加盟のへき地・複式の小学校や小規模中学校に対して、共同研究参加の呼びかけ

### (2) 「第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会」の開催と共同運営

#### ①大会スローガン

「オホーツクの大地に育つ子どもへ未来を切り拓き 夢を実現する学びを」

#### ②開催日…9/16・17

#### ③大会内容

- ・基調報告…オホーツクへき・複連
- ・分散会…渡島・根室・宗谷地区より提言
- ・分科会…1市4町6会場

#### ④協力内容

- ・分散会の企画運営、分科会での助言

#### ⑤コロナ禍における大会方法

- ・全体会：なし
- ・分散会：3分散会3回線リモート  
ブレイクアウトルームを活用した少人数グループでの協議・交流
- ・分科会：ライブ配信(当日)、見逃し配信、ダイジェスト版配信による授業公開

#### ⑤成果と課題

- ・分散会では、双方向のリモート運営を念入りに準備した。小グループでの交流や協議も活発で、想定よりも充実した分散会運営ができた。
- ・分科会では、緊急事態宣言下のため、参集できなかったが、全へき連の協力の下、全国・全道にライブ配信等で、授業公開を行った。一台カメラの映像配信では、授業の細部まで把握できなく、助言はダイジェスト版配信後に行ったが、助言時期を逸するなど、課題点も少なくない。

### (3) 第10次長期5か年研究推進計画の実践と蓄積

#### ①各地区実践事例の収集

#### ②地区へき・複連教育実践研究資料の蓄積と還流

### (4) 研究資料の編集と発行

#### ①道へき・複連「研究部情報」の発行

- ・7月…長期計画の推移、研究組織
- ・2月…全道大会の概要報告

#### ②調査結果と分析

- ・全道複式校の研究分野・課題
- ・全道複式校の学級編制・形態
- ・複式学級を有する学校の指導形態

#### ③HPへの掲載

- ・第10次長期5か年研究推進計画に基づく各地区実践事例

#### ④全へき連への実践資料提供

- ・空知地区…栗山町立継立小学校
- ・上川地区…名寄市立中名寄小学校

### (5) 教育関係各機関・団体等との連携

#### ①北海道教育委員会・各教育局との連携強化

#### ②北海道立教育研究所、各地区教育研究所、北海道教育大学との連携

#### ③全国へき地教育研究連盟との連携

- ・全へき連研究図書編纂委員会
- ・全国へき地教育研究推進協議会
- ・「第70回全国へき地教育研究大会宮崎大会」

# 令和3年度 財政部報告

財政部長 松原 謙二

## 1 令和3年度業務執行について

- (1) 会計業務については、事務局及び各部、各委員会、各地区へき・複連との連携を図り、計画に従って執行しております。
- (2) 道へき・複連会費については、当加盟会員数の減少により会費収入が減少いたしましたが、計画に従って納入いただきました。
- (3) 全へき連会計につきましては、負担いただいた分を滞りなく支出することができました。今後、次年度に向けて全へき連への免除申請を行って負担金を決定いたします。また、管理職負担金につきましても、各地区のご協力により入金され、全へき連への送金を終えております。
- (4) 刊行物につきましては、今年度、北海道へき地・複式教育研究連盟結成80周年記念誌の発行に向けて積み立てをしております。
- (5) 全へき連発行の令和3年度実践事例集「ふるさとへの誇り」の取組を進めることができました。各地区へき・複連においては発行の趣旨をご理解賜り、ご協力いただいたことに感謝いたします。
- (6) 運営資金会計は拠出金の微増となりました。納入された金額の中から規定通り全へき連への送金を終えております。各地区へき・複連のご理解とご協力で心より感謝申し上げます。

## 2 令和4年度の予算編成について

- (1) 予算編成における収入の見込みについては、学校の統廃合や学校規模の縮小により、今後も学校数・教職員数の減少等が予想され、昨年度以上に厳しい情勢となると思われます。予算編成の基礎資料として、2月中に各地区のへき・複連の加入校数・教員数を調査し、収支予定額を把握した上で予算を編成いたします。各地区の担当者の皆様にはお手数をかけますが、よろしくお願いいたします。
- (2) 令和4年度の一般会計については、諸活動の充実に努めるとともに、削減可能な項目をより意識して予算編成を行い、令和4年度定期総会に提案します。
- (3) 現在執行中の旅費規定は、会員の皆様にご協力いただき圧縮していきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。
- (4) 全へき連会計及び運営資金会計は、納入される負担金等の範囲内で執行します。また、全へき連HPの運営費については限られた予算の中で対応していきたいと考えております。今後とも、管理職の皆様をはじめ教職員の皆様への納入拡大への働きかけや未加入校の加盟を促すようお願いいたします。
- (5) 刊行物会計については、令和4年度も、本道の実践も盛り込まれた全へき連の刊行物発行が予想されます。各地区へき・複連においては、研究図書を購入として予算付けし、購読促進の取組をぜひお願いいたします。

### 令和3年度 一般会計執行状況 (令和4年1月24日見込み)

#### 【収入の部】

項目	令和3年度予算	決算見込	増・減(▲)
会費	2,968,092	3,013,332	45,240
繰越金	1,751,123	1,751,123	0
繰入金	600,000	600,000	0
助成金	280,000	280,000	0
雑収入	30	44	14
合計	5,599,245	5,644,499	45,254

#### 【支出の部】

項目	令和3年度予算	決算見込	増・減(▲)
研究大会費	1,450,000	1,450,000	0
研究調査費	1,620,000	991,880	▲628,120
研成刊行費	242,000	212,520	▲29,480
事務局費	2,287,245	1,647,141	▲640,104
合計	5,599,245	4,301,541	▲1,297,704

学校数：217校 教員数：1,442名

【差引残高(1/24見込)】 5,644,499円 - 4,301,541円 = 1,342,958円



## 第71回

# 全道へき地複式教育研究大会 胆振大会の開催について

胆振へき地・複式研究連盟  
研究部長 近藤 大作

### 1 はじめに

令和3年度現在、胆振へき地・複式教育連盟は3市5町13校が加盟し、第10次長計に掲げる2分野6課題を受け、研究を進めています。

第71回全道へき地複式教育研究大会は、大会スローガン「産業豊かな多様性に満ちた胆振の地から子どもたちに未来へ飛躍する力を」のもと、令和4年9月14・15日および令和5年9月13日・14日に開催いたします。今大会よりプレ大会・本大会の形式ではなく、1地区で2年連続の大会を開催する形となります。1年目をファーストステージ、2年目をファイナルステージとして位置付け、同じ助言者、同じ参加者による共同研究を深めていけるようイメージしています。

2カ年計画の研究大会スタイルを構築し、全道へき地複式教育研究大会の新たな一步として踏み出せるよう準備を進めてまいります。

### 2 管内研究推進の方針

#### ～胆振大会のミッション～

ICT時代に対応した授業や新たな情報発信の在り方を示すために、次の取組を進めています。

#### (1) プロモーションビデオの制作

分科会会場校の地域や学校の様子、特色ある教育活動を紹介するプロモーションビデオを制作しています。会場校と協力校のペアリングで研究大会に向けて準備を進めていることから、基本的に協力校で制作を担当しています。

- (2) GIGAスクール構想の趣旨の証明
  - ・ICTを効果的に活用した授業改善
  - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
  - ・遠隔合同授業の実践
- (3) ライブ配信の実施
  - ・当日はオホーツク大会同様、ライブ配信も実施する予定です。

### 3 胆振大会ファーストステージの概要

これまで今大会の分科会会場校は6校とお伝えしていましたが、児童数減少に伴う閉校と教職員定数の削減により、4会場に変更して開催することになりました。

(1) 大会期日 令和4年9月14・15日

(2) 全体会と分散会 洞爺湖町

(3) 分科会 胆振管内4会場

(4) 各分科会〈本年の研究教科・年次〉

(本年4月現在の学校規模)

ア 洞爺湖町立とうや小学校〈全教科・1/3〉  
(通常5 特支1 58名)

イ 伊達市立大滝徳舜警学校〈全教科・2/2〉  
(通常4 特支1 18名)

ウ 白老町立虎杖小学校〈全教科・3/3〉  
(通常4 特支2 33名)

エ 苫小牧市立樽前小学校〈算数科・3/3〉  
(通常4 26名)

### 4 おわりに

令和3年度に開催されたオホーツク大会の成果と課題を引継ぎ、さらに発展を目指す今大会は、参集型とリモート型のハイブリッドでの大会運営を計画しています。

複式教育の原点である「地域に根ざした、開かれた学校教育」を目指すとともに、ICT時代に対応した新たな研究大会を発信していけるよう努めてまいりますので、実行委員会・分科会会場校一同、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

# 北海道へき地・複式教育研究連盟HPリニューアル

北海道へき地・複式教育研究連盟



メニュー

更新情報・お知らせ

## 北海道へき地・複式教育研究連盟ホームページの掲載内容

- 概要（要覧、管内割当）
- 長期研究推進計画
- 各地区研究主題
- 道へき・複連刊行物（道へき・複連情報・研究部情報等）
- 実践事例
- 全道大会
- 実践研究発表大会
- 全国大会
- シンボルマーク  
へき地教師の歌「太陽となろう」
- 北海道ブロック大会資料

どんどんアクセスしましょう！



<http://dohekifuku.zenhekiren.net/index.html>